

様式第5号

出張調査報告書

平成27年2月27日

松伏町議会議長 山崎善弘様

会派名 無所属クラブ

代表者氏名 福井 和義



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記、

1 期 日	平成27年2月12日から平成27年2月13日まで
2 視 察 地	(1) 佐賀県嬉野市 (2) 佐賀県武雄市
3 視 察 目 的	(1) 日本一のバリアフリーのまちを目指して (2) 民間資本と提携した図書館づくり
4 視 察 者 氏 名	鈴木 勉
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

佐賀県嬉野市、武雄市への無所属クラブ（町民クラブの合同）視察研修報告

日 時 平成27年2月12日（木）－13日（金）
場 所 1日目 嬉野市役所 ， 2日目 武雄市図書館現地視察
参加者 鈴木勉（無所属クラブ）

研修の主な内容

- 1 日本一のバリアフリーのまちを目指して
- 2 民間資本と提携した図書館づくり

2/12 午後3時から市役所会議室において、担当課長より説明を受け質疑応答式で研修を実施。事業内容及び教訓等について

嬉野市の概況

佐賀県西南部の長崎県に隣接し、面積126平方キロ、人口27,800人の市である。2006年に嬉野町と塩田町が合併した市である。嬉野温泉を中心とした観光の町でもある。

《日本一のバリアフリーのまちを目指して》

事業目的、経過、現状

嬉野市では、住民主体による「バリアフリーをテーマ」に、障害をもつ観光客、外国人、一般住民がバリアフリーを実感し、思いやりに包まれて心和ませることができる「ひとにやさしいまちづくり」を基本に進められている。

説明の中で印象に残ったのは、「施設整備だけがバリアフリーではない」「ソフト面、意識面を含めたバリアフリーが重要であると位置づけている点である。具体的な取り組みでは、「バリアフリーなおもてなしのあるまち」を基本にテーマに、4つのテーマごとにまちづくりが進められている。それは、バリアフリーツアースターの設置、②市民のバリアフリー観光意識の向上、③企業のバリアフリー意識の向上、④住民向けケアサービスを観光客にも実施、以上のテーマごとに具体的な施策が進められている。

ホテル、旅館等において、要介護者でも入浴できるようヘルパー利用のシステムを構築していることや市内の自治会館でのトイレの洋式化、ホテル・飲食店での4ヶ国語対応の指差し会話集の作成などが特徴的な取り組みとなっている。

成果としては、観光客のリピート率の向上や外国人客増に繋がっており、多方面の経済的効果が現れている。

《研修の教訓》

バリアフリーは、施設面の改善のみに目がいきがちであるが、意識面やソフト事業の大切さを認識させられた。行政と商工団体、住民や企業など地域のあらゆる組織が一体的に取り組んでいる点は、学ぶべきところが多い取り組みである。観光地という側面があるものの、松伏町でも何ができるのか研究していきたい。

2/13 武雄市図書館視察

施設自体が斬新なデザインで、館内に入るや天井までの高い空間が特徴的な施設であった。レンタルビデオとコーヒーショップが館内の中に併設され、新刊の販売までなされている点は、他の公立図書館とは大きな相違である。特に、図書館内で飲食をしながら貸し出し本を読める点は、通常の図書館では禁止行為となっていることが、この図書館の売りにもなっている。マナーさえ守れば何も問題がないだけに、住民（客）の視点に立った図書館運営が重要であることを認識させられた。

施設面、運営面、民間とのタイアップ、など既成概念にとらわれず、斬新なアイデアの中で、図書館利用者は拡大しているとのことで学ぶべきところの多い図書館であった。

平成26年度無所属クラブ視察日程表

平成27年2月12日 南越谷 7時00分
↓
羽田 10時00分
↓
福岡空港 11時30分着
↓
嬉野市塩田庁舎 15時00分

- (1) 日本一のバリアフリーのまちを目指して
(嬉野市希望による市内宿泊施設 初音荘)

平成27年2月13日

現地視察 9時30分より
(武雄市図書館視察)
福岡空港 17時00分発
↓
大宮 18時40分着
↓
南越谷 21時00分着